



名門私学探訪⑤4

# 岡山学芸館 清秀

多彩なプログラムで時代を拓く  
クリエイティブスクール！

撮影／岩井 進 取材・文／橘 雅康（本誌編集長）





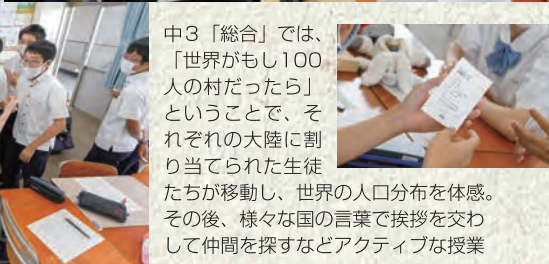
## \* LESSONS \*

### 日々行われる授業は、 ドキドキ・ワクワクの連続

かなりアップテンポの授業が展開されていたのは、タロック先生が担当する中1「英語」(写真左)。先生のノリに合わせて、生徒たちはゲーム感覚で次々に問題にチャレンジ。そのスピード感あふれる様子には正直驚かされた。同校では、どの教科でも生徒が主体的・能動的に取り組む様子がよく見られる。それは、日々の授業はもちろん、「タイ・カンボジア研修」を始めとする多彩な海外研修プログラムなどでも発揮されている。五感に訴えかける感動体験のプログラムの数々は、まさに同校の真骨頂だろう。



習熟度別のハーフクラスで行われる高1「古典」。この日は、係り結びの表現などに気をつけながら、紀貫之の「土佐日記」を読み通す



中3「総合」では、「世界がもし100人の村だったら」ということで、それぞれの大陸に割り当てられた生徒たちが移動し、世界の人口分布を体験。その後、様々な国の言葉で挨拶を交わして仲間を探すなどアクティブな授業



清秀中学校・高等部の校舎はキャンパスの南端にあり、眺望も良好。眼下には吉井川の下流域が広がる(写真上)。1階エントランスには、いろんな掲示物が。「東大新聞」や卒業生の活躍、何やら料理の写真がいっぱい貼られた立て看板まで(写真右)。実はこれ、コロナ禍での自粛期間に、生徒たちが親と一緒に作った「我が家の味」なんだとか。毎日作ってくれる家族の気持ちがよくわかりましたと感想をもらす生徒も多かったそう



同校が教育目標に掲げるのは、社会生活をおくる上で基盤となる「規範意識」。自分を律し、正しい道徳観を身につけなければ、他者の痛みがわかる真のリーダーにはなれないという考え方。そして、そのためには物事を客観的にとらえるための「広い視野」と、それを裏付けるだけの「高い学力」が求められる。独りよがりにならないためには、たんなる知識だけでなく自らの五感を通して得られる体験活動が必要で、「深い教養」を得るための教育プログラムが欠かせない。

私学はカリキュラムも学校行事も教育理念に基づくものだが、同校の掲げるコンセプトすべてが具現化された行事は、何と云っても中3での「タイ・カンボジア研修」だろう。

「本校の生徒たちは、貧困や虐待を日常的に受ける現地の子どもたちと出会い交流します。つらいと思われる現実の中でも、現地の子どもの瞳がキラキラと輝いているのはなぜで

しょう。体験を通じて生徒たち自身が「ほっ」と気づき、様々な視点で物事をとらえて考えるようになります。いかに自分たちが恵まれているか、自然と感謝の念が湧いてくるのです」と副校長・上田肇先生。

そして、生徒たちは自らの歴史や文化をしっかりと学び、「誇りある日本人」という自覚を持つのであろう。

日々の授業や学校行事を通して行われる多彩なアクティビティの数々は同校の魅力だが、課外活動としても「ハイレベル生物」「数学難問」「サイエンスチャレンジ」「文学」といった様々な講座が準備されている。こうした学びの成果は、生徒たちの進路実現にも表れていて、ここ数年、東京大学や国立大学医学部など、最難関大学・学部への進学者が増えていることから

しょう。体験を通じて生徒たち自身が「ほっ」と気づき、様々な視点で物事をとらえて考えるようになります。いかに自分たちが恵まれているか、自然と感謝の念が湧いてくるのです」と副校長・上田肇先生。



副校長  
上田 肇 先生

## 日本人としての誇り、 利他の心を持って

2010(平成22)年に開校した新進気鋭の進学校、岡山学芸館清秀中学校・高等部。もちろん、その教育の根底には森教育学園・岡山学芸館高等学校と共通する「世界で活躍できる立派な日本人を育てる」という理念があります。他者や他国を理解し愛することができる前提として、自分や家族を大切に、祖国を愛し誇りを持てる人であることが必要だという考えのもと、同校のカリキュラムには独自の感動体験プログラムがあり、いま注目を集めています。

## \* LOCATION & FACILITIES \*

### 多彩な学びを実現する、抜群の教育環境！

独自のユニークな教育で注目されている同校だが、近年は中学入試当日に兵庫県姫路市や加古川市から専用のバスも運行し、岡山市内からの受験者に加え、兵庫県の西エリアからも受験者が増えている。JR「岡山駅」から最寄りの「西大寺駅」までは18分、姫路からだと在来線で約90分。新幹線の利用を組み合わせると50分にまで通学時間を短縮することができる。「西大寺駅」からは徒歩7分、学校を挟むよう南北のルートで専用のスクールバスが運行されている。周辺はとても落ち着いた文教地区で、約10万㎡にも及ぶキャンパスには、学校法人森教育学園の岡山学芸館高等学校と清秀中学校・高等部が隣接している。

清秀中・高等部の  
おしゃれな校舎



岡山市東区西大寺の高台、絶好のロケーションに位置する同校。JR西大寺駅の南側には「岡山学芸館スクールガーデン」(2019年秋竣工)があり、ここは柔道場やダンススレッション場、テニスコートなど多目的に活用できる文化施設となっている



### 学校の近くで行われるのが日本三大奇祭の一つ「裸祭り」

高野山真言宗の別格本山である「西大寺」(山号:金陵山)。ここは、毎年2月第三土曜日に開催される日本三大奇祭の一つ「会陽(えよう)」、通称「裸祭り」で有名。本堂の梁から宝木が落とされ、ふんどし姿の男衆が奪い合うもので、同校の先生方(40歳以下)や学芸館高校の体育系クラブの生徒たちなど希望者もこの伝統行事に参加するという。







**\*CULTURAL FESTIVAL\*  
DURING COVID-19**

**在校生のみで開催された  
文化祭の様子をチェック！**

2020年9月25日に開催された第59回「学芸祭」のテーマは「飛躍～青春を見逃すな～」。文化祭実行委員長のメッセージには「飛躍という言葉には、大きく発展する、高く飛ぶ上がるという意味があります。その言葉通り新しいことに取り組んでほしい、今の暗い雰囲気を楽しいものに変えてほしいと思っています」とある。今年は残念ながら一般の参観が不可に、保護者へは映像配信となってしまったが、生徒たちは熱かった。

AFTER

準備段階からずっと追いかけていたのが、動画作品「逃走中～アオハルのウラギリモ～」を制作した高2のクラス。テレビ番組のリメイク作品だが、友情かそれとも仲間への裏切りか、ミステリアスかつスリリングに展開する脚本と演出、生徒たちの見事な演技に脱帽



**照明技術を駆使したライブも**

教室での展示やプレゼンテーションのほか、体育館では有志によるダンスパフォーマンスや漫才も行われた。素晴らしい音響と照明設備の中で軽音楽部・合唱部・和太鼓部・ダンス部・チアリーディング部などのステージも



美味しそうな揚げたて焼きやタコス、フライドポテト…。模擬店は最上級生である高3生の特権！？雨にも関わらず長蛇の列が続く

「あっ！」模擬店の生徒たちの中に平賀先生の姿が。学校生活のあらゆる場面で、生徒たちに寄りそう先生方の姿が見られる



生徒たちの手でテスト問題を作る高1「国語」。素材文から各自が考えた案をグループに持ち寄って検討を重ね、解説・解答まで作成。根拠のある解答を作るためには深い読解力が求められる



中1「プログラミング」(技術)の授業は9級の内容。先生が説明する手順通りに作業を進める。キーボードを打つ手つきも早い



BEFORE

**\*LUNCH TIME & AFTER SCHOOL\***

**取材の日は、特別なランチタイムでした**

昼休み、男子生徒たちが何やら段ボール箱を抱えて教室に戻ってきた。何だろうと思っていると、「毎年、中2と高2は文化祭の前日に常備している『防災フード』を食べるんです」との声。なるほど、実際に確かめようとクラスをのぞいてみると、すでに教室内のあちこちで湯気が立ち上っていた。袋の中には発熱剤が入っていて、水を加えると加熱され、湯気がおさまるとできあがり。カレーやクリームシチューをご飯にかける。「災害時がもし冬だったら、この熱々の料理がきつとありがたいんでしょうね」と高2の男子。そこに気付くのはさすが！ちなみに、岡山学芸館高校の生徒たちと共用の食堂もあるが、中学生たちは圧倒的にお弁当派が多い。



**年に一度の祭典に向けて  
集中して準備を進める！**

この日は文化祭の前日。午後からは準備時間に充てられた。掲示物や小道具など、各クラスで展示のための作業が急ピッチで続く



写真右・下は中3のクラス。ギネス世界記録に挑戦した動画をチェック中



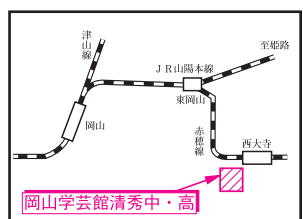
「わー、すごい湯気～」「熱っ！」と声飛び交う。驚いてのけぞりながらも、興味津々の生徒たち(写真左)

**岡山学芸館清秀 DATA**

<http://www.gakugeikan.ed.jp/seishu/>

- 〒704-8502 岡山市東区西大寺上1丁目19-19
- TEL 086-942-4916

クラブ活動は「硬式テニス」「軟式野球」「競技カタルタ」など中学生のみで活動を行うもの8種と、高校生と一緒に「吹奏楽部」「自然科学(農業班・化学班)」「琉球三味線部」など運動系・文化系合わせて19種もある。



● JR岡山駅から赤穂線「西大寺駅」下車、徒歩7分。スクールバスの運行もあり、西大寺バスセンターから徒歩4分



後片付けなど掃除の徹底、身だしなみのセルフチェックなども同校が大切にしていることの一つ



校舎にはどの階にもテラスが設けられており、ここで弁当を食べるのもOK。周囲の木々の緑がとても心地よく感じられる

